



ハトダヨ
2019年
10月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第42号 令和元年10月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼令和元年9月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1	希望の糸	東野 圭吾／著	11	すぐ死ぬんだから	内館 牧子／著
2	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ／著	12	マジカルグランマ	柚木 麻子／著
3	平場の月	朝倉 かすみ／著	13	検事の信義	柚月 裕子／著
4	ノースライト	横山 秀夫／著	14	さよならの儀式	宮部 みゆき／著
5	傲慢と善良	辻村 深月／著	15	シーソーモンスター	伊坂 幸太郎／著
6	一切なりゆき	樹木 希林／著	16	百花	川村 元気／著
7	むらさきのスカートの女	今村 夏子／著	17	クジラアタマの王様	伊坂 幸太郎／著
8	機捜 235	今野 敏／著	18	つみびと	山田 詠美／著
9	とめどなく囁く	桐野 夏生／著	19	姑の遺品整理は、迷惑です	垣谷 美雨／著
10	樹木希林 120 の遺言	樹木 希林／著	20	我らが少女 A	高村 薫／著

イベント告知

今野敏 氏 作家講演会

10/20(日) 14:00~15:30(開場 13:30)

会場：函館市中央図書館 視聴覚ホール

定員：150名（先着順／申込不要）

図書館員のブックトーク

10/26(土) 14:00~15:00
(開場 13:30)

会場：函館市中央図書館 大研修室

定員：50名（先着順／申込不要）

大人図書館ツアー

11/10(日) 13:00~14:30

会場：函館市中央図書館 中研修室

※事前予約が必要です。(先着 12 名)

受付開始日時：**10/20(日) 9:30~**

受付電話番号：35-5500 (企画担当)

※詳しくは館内ポスター・チラシをご覧ください。お問合せ：☎0138-35-5500

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「絶対に死ぬ私たちが これだけは知っておきたい健康の話」

棚：湯川図書室
請求記号：498.3 ヲ

著者：若林 理砂 出版社：ミシマ社（2018 年 8 月）

著者の若林さんは鍼灸師。

東洋医学を基にしたココロとカラダのお話です。具体的には、「寝る・食う・動く」といった生活そのものの乱れを正し、様々な健康法を試す前に、まずは土台を整えよう！という現代版・養生といった内容です。“絶対に死ぬ私たち”なんて少々乱暴なタイトルも著者の考える「健康」を説明する上では大事なキーワードと言えます。

健康のことが気になり始めたら、土台作りからスタートしてみてもいいかもしれません。

タイトル：「理系の料理」

棚：J14～J15
請求記号：596 コ

著者：五藤 隆介 出版社：秀和システム（2015 年 9 月）

タイトルに「料理」とありますが、普通のレシピ本ではありません。

理系脳、かつ料理初心者の著者が、牛丼製作の手順書をもとに、料理を理解し、攻略していく過程が書かれています。

行程表の中で、まな板の上に置いた定規に沿って 1 cm（適量）分のチューブ生姜を絞り出すなど、料理が得意な人には笑えます。レシピ通りに作ったのに上手くできない人や、これから料理を始めようという人は、一度読んでみてはいかがでしょうか。

タイトル：「漫画むかわ竜発掘記」

棚：B1～B5
請求記号：Y457.87 マ

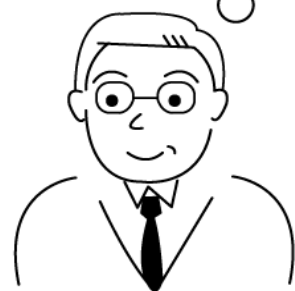
企画・原案：土屋 健 出版社：誠文堂新光社（2019 年 6 月）

日本初の全身骨格化石「むかわ竜」。北海道に住む方ならば 7200 万年という時間を超えたこの奇跡の大発見に、胸をわくわくさせている方も多いのではないのでしょうか。

この本は漫画で読みやすく、発見からのドラマを紹介しています。はじめは硬い岩に包まれたたった 1 つの化石でした。そこへまるで運命のような出会いが重なり、やがてみんなの思いをのせてむかわ竜は町の希望となっていきます。ページをめくれば人々の熱意や努力が伝わって、胸がドキドキするような一冊でした。

今年はむかわ竜をモデルにした絵本「いまぼくはここにいる」なども出版されています。合わせておすすめです。

館長随想（四十二）



最近図書館正面入り口にあった岡田健蔵胸像が、回廊に移されたことに気づいた方はいますでしょうか。そもそも岡田健蔵の像が図書館にあるのはなぜでしょう。

岡田健蔵は明治十六年現在の入舟町に生まれました。早くに父親を亡くし、高等小学校を中退して雑貨商の店に年季奉公に出ました。年季が明けるとロウソク製造販売の店をはじめ、明治四十年その傍ら店に本を置き貸し出しも行っていました。これが函館図書館の事始めです。彼の奔走で明治四十二年函館公園内に蔵書八千冊の図書館が開館しました。函館で初めての図書館誕生です。運営は民間団体で、市立になったのは平成十七年まで使われていた昭和三年鉄筋コンクリート造りの建物になった時です。

この新図書館館長に就任した岡田健蔵は昭和十九年に亡くなるまで館長職を続けました。彼は図書館が開館した明治より郷土資料の収集に執念を燃やしました。その結果今も函館の図書館には貴重な資料がたくさん残されています。開拓使に関する資料など明治、大正期だからまだ手に入ったものがありました。

今月から、千葉県野田市郷土博物館では、函館図書館で勤務した後野田市に移り、博物館の基礎を作った佐藤眞に関する資料展が開かれます。佐藤を指導した岡田健蔵の資料を当館から出品しています。遠く千葉においても岡田健蔵がまいた種が芽吹いたのです。

「郷土史のまなざし」博物館誕生のものがたり」

令和元年十月五日（土）～令和二年一月二十日（月）

野田市郷土博物館

（千葉県野田市野田三七〇・八）

デジタル資料館 紹介



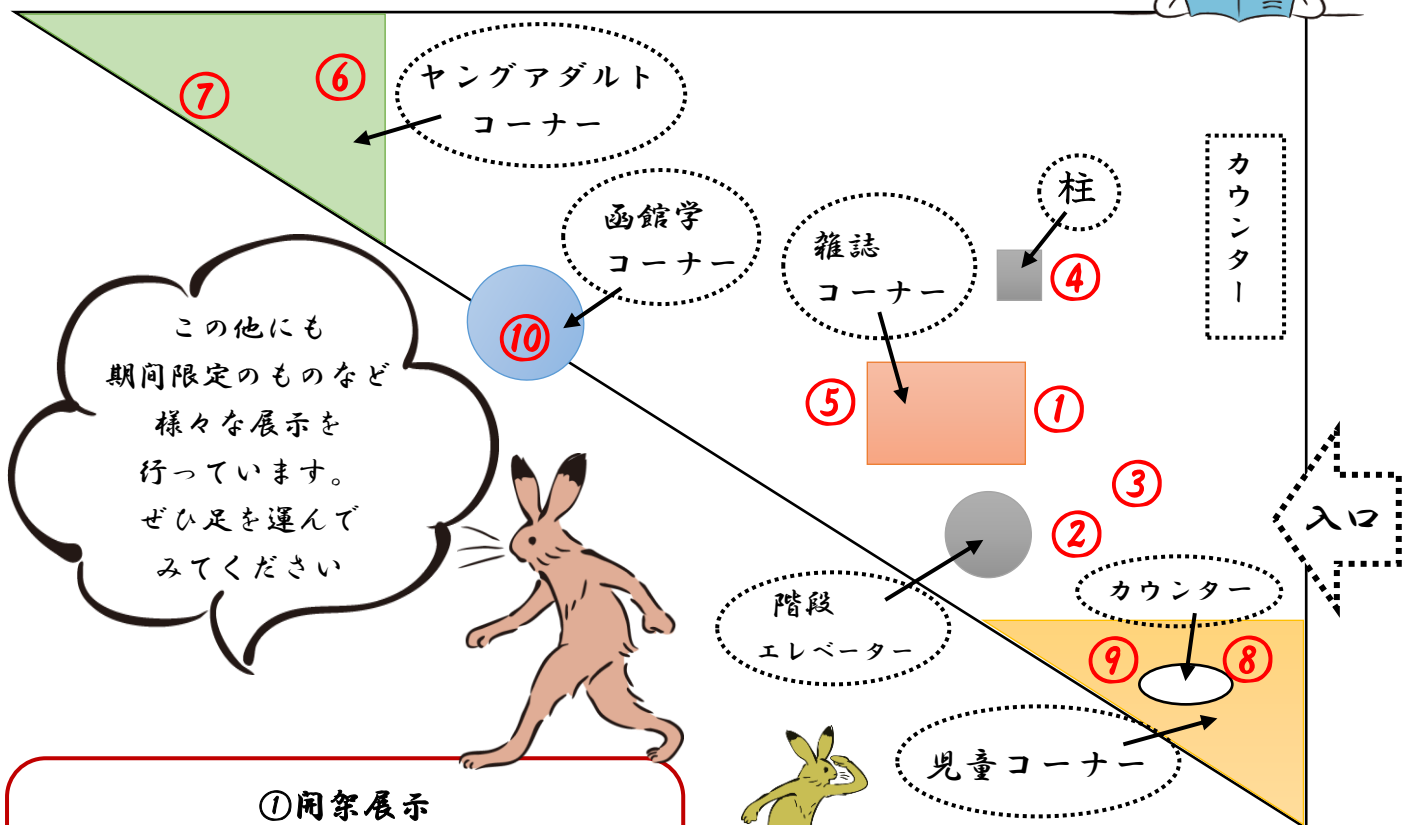
水道工事写真 水道疎水式 (ph750068-0010)

10月17日は上水道の日です。

函館に近代水道がひかれたのは明治22年のことで、横浜に続いて全国で2番目でした。

写真は函館公園で行われた開通式の様子です。用意された噴水塔から水が噴き出た瞬間、開通を待ち望んでいた函館区民は手を取り合って喜んだそうです。

図書館展示めぐり



①開架展示

メインとなる展示コーナー。
毎年恒例となっているスタッフによる
「私たちのおすすめ本」などがあります。

②ミニ展示

約、月に一度のペースで展示を入れ替え。
カート置き場そばの柱に設置。

③カート展示

テーマを変えながら不定期で展示。

④ラック展示

カウンター前の柱の下で行っています。

⑤特別展示

年4回、四季に合わせて、料理や洋裁
などの家政学の本が集められています。

⑥YA展示

ヤングアダルトコーナーにある中高生向け
の本の中から、テーマを変えて展示。

⑦進路支援コーナー

「なるにはシリーズ」など進学や就職に
役立つ本が年間通して展示してあります。

⑧児童カウンター前展示

絵本や紙芝居などを季節や行事に合わせて
こまめに展示替えをしています。

⑨児童カウンター横展示

自由研究など、小学生を対象に約1ヶ月に
1回のペースで展示を入替しています。

⑩函館学展示

郷土に関する本の中からテーマを設けて
函館学コーナーにて展示しています。

たくさん本が待っています

